

『桜の花の対句を作る』

鶯啼	花飛	雨晴	雲深	香銷	春深	緩尋	春探	煙深	更宜	雪晴	①	
うぐいすなき	はなどび	あめはれて	くもふかく	はるふかく	はるふかく	ねるやかにたず	はるをさぐり	けむりふかく	さらによろしく	ゆきはれ	雪がやんで晴れる	
鶯が鳴く	飛ぶ花	雨が晴れて	雲が深い	香が消える	春たけなわ	のんびりと訪ねる	ねる（花見に）～を訪	濃い霧	更にふさわしい	雪が（水の上に）浮かべる	花浮	はなをうかべ
雲開	橋過	雨催	花濃	花飄	香回	客來	花深	毎招	春浮	風合	花浮	はなをうかべる
くもひらき	はしをすぎる	あめうながし	はなこまやかに	はなひるがえり	こうめぐり	きやくきたつて	はなふかく	つねにまねき	はるうかび	かせふくみ	花浮	はなをうかべる
雲が散り日がさす	橋を過ぎる	雨が～そよと促す	り（花の色が濃くなる）盛	花が落ちる	香が落ちる	香が漂つてくる	花がいっぱい	いつでも招く	春は～を浮かべる	風の中にいる	花浮	はなをうかべる
花密	樹深	花墮	雨後	日暖	雨隔	燕去	花発	燕掠	花浸	風暖	花浮	はなをうかべる
はなみつに	じゅふかく	はなおち	うご	ひあたたかく	あめをへだてる	つばめさり	はなひらき	つばめかすめて	はなはひたして	かせあたたかに	花浮	はなをうかべる
花が密接	茂つた樹	花が落ち	雨上がり	日が暖かい	雨がやんで	つばめの一種	花が咲いて	つばめは～をかすめて	花は～をひたして	風が暖かい	花浮	はなをうかべる
鶯聴	風定	春倒	眼満	路満	花落	風送	時有	頻動	春放	気暖	新綻	びあらたにほころ
うぐいすをきき	かぜさだまり	はるいたり	めにみち	みちにみつ	道にいっぱい	花が散る	風は～にあつて	ときにはなつ	はるははなつ	きあたたかに	花浮	はなをうかべる
うぐいすを聞く	風が穏やかになる	春が来る	目にいっぱい	道にいっぱい	花が散る	風は～にあつて	この時に	しきりにうごく	忙しく動く	春が広がる	花浮	はなをうかべる

②	①	②	③	④

花のつぼみが開きかけ